

(参考資料)**2010年3月期決算の概要と
2011年3月期業績予想について****2010年3月期決算の概要**

対前期減収営業減益、二期連続の当期純損失に

2010年3月期連結売上高は、世界的な需要の低迷と為替の円高影響により、全ての事業セグメントにおいて減収となったことで前年同期比445億円、9.7%減の4,148億円となりました。

連結営業利益は、楽器以外のセグメントでは営業増益、または改善となりましたが、主力の楽器が大幅な減益となったことで、前期比50.7%減の68億円となりました。連結経常利益は、前期比59.0%減の49億円となりました。

一方、連結当期純損益は、リビング事業子会社株式譲渡に係る損失や、事業再配置等に伴う遊休不動産に係る減損損失等の発生等により49億円の当期純損失となりました。

なお、3月19日発表の業績予想に対しては、売上高は若干の増加となり、営業利益8億円、経常利益9億円と各々増加しましたが、当期純損失は、ほぼ前回予想通りの49億円となりました。

事業セグメント別の売上高・営業利益の状況

()内は原則として前年同期比増減率

・楽器事業 売上高 2,763億円(前期比9.9%減) 営業利益 51億円(同73.3%減)

ピアノ、電子楽器、管弦打楽器などの主要事業が市場低迷の影響を受け、セグメント全体で減収となりました。中国では、中国製ピアノの拡販などにより、引き続き2桁成長を果たしましたが、先進国市場である国内及び欧米では景気減速に影響を受け減収となりました。音響機器も、主に設備投資の抑制で市場が低迷し減収となりました。音楽ソフト事業は、音楽配信、出版等が振るわず減収となりました。

英語教室は、平成23年からの小学校での英語教育の義務化もあり、生徒数が増加し増収となりましたが、音楽教室は、少子化や景気減速などの影響で生徒数が減少し減収となりました。損益は、減収及び、為替影響を大きく受け大幅な減益となりました。

・AV・IT事業 売上高 544億円(同4.1%減) 営業利益14億円(前期4億円の営業損失)

オーディオは、国内では薄型テレビの需要拡大に伴い、シアターラックシステムやデジタルサウンドプロジェクトが売上を伸ばしました。欧米では、AVレシーバーなど主力商品の販売が期後半で盛り返したものの、景気減速に加え、為替影響により通期では減収となりました。業務用通信カラオケ機器及び会議システムは増収となりましたが、ルーターは市場の縮小により減収となり、セグメント全体でも減収となりました。損益は、製品内製化の推進と材料コストダウンによる原価低減、経費削減等により、前年の営業損失から大幅に改善し営業黒字となりました。

・電子部品事業 売上高 197億円(同10.2%減) 営業損失6億円(前期25億円の営業損失)

半導体は、デジタルアンプ及び車載用LSIは増収となりましたが、携帯電話用音源LSIがソフト化の進行や国内市場の悪化により引き続き減収となり、セグメント全体でも減収となりました。損益は、前期に実施した製造用設備の減損に伴う減価償却費の減少等により損失が縮小しました。

・**リビング事業** **売上高 369億円(同14.3%減)** **営業利益 4億円(前期3億円の営業損失)**

主力のシステムキッチン、システムバスとも、新築住宅着工数の大幅な減少や競争激化による低価格化の進行により減収となり、セグメント全体でも減収となりました。損益は、徹底した経費の削減や製造コストダウンに努め、前年同期の営業損失から営業利益に転じました。

なお、2010年3月31日付けで日本産業パートナーズ株式会社が管理・運営する投資事業有限責任組合等にリビング事業を営む連結子会社、ヤマハリビングテック株式の85.1%を譲渡し、同社及びその100%子会社2社が、同日に連結対象範囲から外れております。

・**その他の事業** **売上高 275億円(同10.9%減)** **営業利益 5億円(前期21億円の営業損失)**

ゴルフ用品は、国内外の市場の冷え込みにより、対前期減収となりました。自動車用内装部品は、完成品メーカーの在庫調整が一巡したことにより増収となりましたが、マグネシウム部品は、携帯電話用途の減少により減収となりました。レクリエーション事業も、宿泊客やゴルフ客の減少により減収となり、セグメント全体でも減収となりました。損益は、経費の削減や製造コストダウンによる損益分岐点の引き下げにより営業利益に転じました。

なお、2010年3月をもちましてマグネシウム成型部品事業から撤退を致しました。

ヤマハ株式会社個別業績の概要

対前期減収、各利益とも損失に

ヤマハ株式会社個別業績については、売上高は、2,279億円(前期比17.0%減)となりました。損益については、営業損失98億円、経常損失84億円とそれぞれ赤字に転じ、当期純損益も、特別損失の計上等により164億円の当期純損失となりました。

2011年3月期業績予想について

減収営業増益を予想

2011年3月期は、新中期経営計画「YMP125(Yamaha Management Plan 125)」初年度にあたり、その計画実現に向けた諸施策の実施に取り組んで参ります。

楽器事業は、引き続き製造拠点の再編と原価低減施策を進めるとともに、中国及び新興市場での成長加速により増収増益を見込んでおります。AV・IT事業は、AVレシーバーの売上回復、TV周辺機器での成長持続とコスト競争力の強化により、増収増益を見込んでおります。電子部品事業は、アミューズメント画像LSI等の新商品投入と製造コストダウンにより、増収増益改善を見込んでおります。その他の事業は、マグネシウム成形部品事業からの撤退により減収となるものの、FA機器での売上回復により、利益水準の維持を見込んでおります。

以上により、2011年3月期連結業績予想については、売上高3,850億円、営業利益100億円、経常利益75億円、当期純利益55億円を予想しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2010年3月期業績資料

ヤマハ株式会社

2010年4月28日

| | 前期実績 09年3月期 | 当期予想 (10/3/19発表) 10年3月期 | 当期実績 10年3月期 | 次期予想 11年3月期 | 次期中間期予想 11年3月期 |
|--------------------------|-----------------------|-------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 売上高 | 4,593億円 | 4,130億円 | 4,148億円 | 3,850億円 | 1,880億円 |
| 国内売上高 | 2,349億円 (51.1%) | 2,160億円 (52.3%) | 2,184億円 (52.7%) | 1,813億円 (47.1%) | 898億円 (47.8%) |
| 海外売上高 | 2,244億円 (48.9%) | 1,970億円 (47.7%) | 1,964億円 (47.3%) | 2,037億円 (52.9%) | 982億円 (52.2%) |
| 営業利益 | 138億円 (3.0%) | 60億円 (1.5%) | 68億円 (1.6%) | 100億円 (2.6%) | 55億円 (2.9%) |
| 経常利益 | 120億円 (2.6%) | 40億円 (1.0%) | 49億円 (1.2%) | 75億円 (1.9%) | 45億円 (2.4%) |
| 当期利益 | 206億円 - | 50億円 - | 49億円 - | 55億円 (1.4%) | 35億円 (1.9%) |
| 為替レート(決済レート) | 102円/US\$ 153円/EUR | 93円/US\$ 129円/EUR | 93円/US\$ 130円/EUR | 90円/US\$ 127円/EUR | 90円/US\$ 127円/EUR |
| ROE | 7.0% | 0.6% | 2.0% | 2.2% | 2.8% (*1) |
| ROA | 4.3% | 0.4% | 1.2% | 1.4% | 1.8% (*2) |
| 1株当たり利益 | 103.7円 | 25.4円 | 25.0円 | 27.9円 | 17.7円 |
| 設備投資 (減価償却費) | 226億円 (179億円) | 159億円 (142億円) | 145億円 (141億円) | 139億円 (142億円) | 73億円 (67億円) |
| 研究開発費 | 232億円 | 210億円 | 217億円 | 217億円 | 112億円 |
| (フリーキャッシュフロー) | | | | | |
| 営業活動 | 22億円 | 345億円 | 399億円 | 211億円 | 30億円 |
| 投資活動 | 260億円 | 164億円 | 127億円 | 135億円 | 65億円 |
| フリーキャッシュフロー | 282億円 | 181億円 | 272億円 | 76億円 | 95億円 |
| 期末在庫高 | 807億円 | 689億円 | 695億円 | 654億円 | 749億円 |
| (要員数) | | | | | |
| 国内 | 10,765人 | 10,850人 | 9,628人 | 9,600人 | 9,700人 |
| 海外 | 16,038人 | 15,950人 | 16,030人 | 16,500人 | 17,100人 |
| 合計 (*3) (連結範囲変動による増減) | 26,803人 (148人) | 26,800人 (75人) | 25,658人 (1,106人) | 26,100人 (0人) | 26,800人 (0人) |
| (事業別売上高) | | | | | |
| 楽器 | 3,066億円 (66.8%) | 2,750億円 (66.6%) | 2,763億円 (66.6%) | 2,810億円 (73.0%) | 1,400億円 (74.5%) |
| AV・IT | 567億円 (12.3%) | 535億円 (12.9%) | 544億円 (13.1%) | 570億円 (14.8%) | 255億円 (13.5%) |
| 電子部品 | 220億円 (4.8%) | 200億円 (4.8%) | 197億円 (4.8%) | 230億円 (6.0%) | 105億円 (5.6%) |
| リビング (*4) | 431億円 (9.4%) | 370億円 (9.0%) | 369億円 (8.9%) | - | - |
| その他 | 308億円 (6.7%) | 275億円 (6.7%) | 275億円 (6.6%) | 240億円 (6.2%) | 120億円 (6.4%) |
| (事業別営業利益) | | | | | |
| 楽器 | 192億円 | 55億円 | 51億円 | 65億円 | 40億円 |
| AV・IT | 4億円 | 10億円 | 14億円 | 25億円 | 10億円 |
| 電子部品 | 25億円 | 5億円 | 6億円 | 5億円 | 0億円 |
| リビング (*4) | 3億円 | 0億円 | 4億円 | - | - |
| その他 | 21億円 | 0億円 | 5億円 | 5億円 | 5億円 |

(単独の状況)

| | | |
|------|-------------|---------|
| 売上高 | 2,746億円 | 2,279億円 |
| 営業利益 | 12億円 (0.5%) | 98億円 - |
| 経常利益 | 44億円 (1.6%) | 84億円 - |
| 当期利益 | 189億円 - | 164億円 - |

*1, 2 次期中間期予想のROE・ROAは年換算値

*3 要員数 = 期末正社員在籍数 + 期中平均正社員外要員在籍数

*4 リビング事業は、2010年3月31日付け一部株式譲渡に伴い、2011年3月期より連結対象から外れました。

当資料の記載内容のうち、将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測には、リスクや不確定な要素などが含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。